

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児者余暇生活支援センターじらふ・泉北		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者のみなさまの満足度が高いこと…適切で専門的な支援やプログラム内容、全体的な満足度など。	・他のデイにはない支援方法を取り入れています。それを求めて利用希望をくださる保護者様も多くなりました。	・職員のスキルアップ。新しい職員が入っても、同じ支援を担保できるような勉強会や常勤職員のフォローの充実が求められます。
2	・毎月の写真付きおたよりや、SNSでの活動発信、公式LINEを用いての情報提供(研修、勉強会など)	・利用児さんの写真を掲載することで、自身のお子さんの様子や他児の様子、じらふでの活動をしていただけるようにしています。 ・保護者向けのイベントや勉強会などの情報提供も公式LINEから一斉送信しています。とにかく情報発信、を心がけています。	・SNSをより見やすく、また発信スキル(さまざまな機能を活用)を手に入れたいです。(ハッシュタグのつけ方や、ショート動画、リール動画など)
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定期的に懇談を実施していますが、一部、なかなかお時間を取って頂けない保護者様がいること。(懇談日程調整のアンケートが一度もかえってこない)	保護者の就労状況などから、実施が難しい様子。	現在、送迎時などにサッと説明をしたり、聞き取りしたりしていますが、あきらめずに何度か日程調整の連絡をしてみたいと思います。現在、夜の時間帯や平日以外の時間帯も調整可能にし、アンケートにその旨を記載できるようにしています。
2	保護者同士のつながりの場ときょうだい児支援等のフォローアップ	利用児への支援が中心で、背景の家族支援、自宅での子育て相談やアドバイス等で手一杯になってしまうことが多い。家族によっては横のつながりが希薄かもと感じるご家庭もある。	昨年初めて、じらふ・系列の生活介護・系列の就労事業所合同での保護者会を行いました。放デイ利用保護者にとっては、学校卒業後の生活を想像したり、進路選択の参考にもなったようで、大変良かったという声を頂いています。こちらの家族交流会を継続実施していきたいと考えています。
3	地域の方たちとの交流	暑い時期が多く、なかなか外遊びに出る機会がへり、近所の子たちも集まる公園に遊びに行く機会がへりました。近隣の公園での遊びでは、よく地域の子もたちと、遊具を共有したり、グラウンドを共有させてもらうことができていました。	月1度の近所のこども食堂への参加(土曜日)を継続しており、ボランティアさんにも声をかけてもらえることが増えました。継続参加していきたいと思っています。良い季節には積極的に散歩や公園にでかけ、地域資源を活用する機会を作ります。